

プログラム

1日目 (10月5日 土曜日)		
開始時刻	終了時刻	講義名
10:00	- 10:20	イントロダクションおよび事前問題 (20分) 司会：鈴木 達也 (国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)
10:20	- 10:40	がんゲノム医療の提供体制について (20分) 安藤 弥生 (厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課)
10:40	- 11:40	がんの生物学・分子生物学の基礎知識 (60分) 大木 理恵子 (国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野)
11:40	12:30	<昼 食 (50分)> 司会：米村 雅人 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)
12:30	- 13:20	ゲノム医療で使用される用語の説明 (50分) 西尾 和人 (近畿大学医学部 ゲノム生物学教室)
13:20	- 14:10	ドライバー遺伝子変化と分子標的薬 (50分) 大江 裕一郎 (国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科)
14:10	- 14:20	<休 憩 (10分)>
14:20	- 14:50	遺伝子検査 (30分) 坂井 和子 (近畿大学医学部 ゲノム生物学教室)
14:50	- 15:20	遺伝子パネル検査結果の活用方法 (30分) 高橋 秀明 (国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科)
15:20	- 16:20	遺伝医学、遺伝性腫瘍 (60分) 古川 洋一 (東京大学医科学研究所 臨床ゲノム腫瘍学分野)
16:20	16:30	<休 憩 (10分)>
16:30	- 17:30	医療倫理と個人情報保護 (60分) 武藤 香織 (東京大学医科学研究所 公共政策研究分野)
17:30	- 17:50	がんゲノム医療コーディネーターとしての活動について (20分) 柳田 絵美衣 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センター)
2日目 (10月6日 日曜日)		
司会：鈴木 達也 (国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)		
09:00	- 09:30	遺伝子変化の臨床的意義に関するエビデンスレベル (30分) 武田 真幸 (近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門)
09:30	- 10:30	患者さんとのコミュニケーションのあり方を考える (60分) 田村 智英子 (FMC 東京クリニック)
10:30	- 10:40	<休 憩 (10分)>
10:40	- 11:40	遺伝子パネル検査におけるレポートの作業手順と読み方 (60分) 西原 広史 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センター)
11:40	- 12:40	<昼 食 (60分)> 司会：浜本 康夫 (慶應義塾大学医学部 消化器内科)
12:40	- 13:10	がんゲノム医療コーディネーターCGMCが行う業務内容について (30分) 武田 祐子 (慶應義塾大学 看護医療学部)
13:10	- 15:10	事例検討 (120分) 浜本 康夫 (慶應義塾大学医学部 消化器内科)
15:10	- 15:30	事後評価及びアンケート (20分)

主 催：日本臨床腫瘍学会

協力学会：日本遺伝看護学会、日本癌学会、がん看護学会、日本癌治療学会、
日本人類遺伝学会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床腫瘍薬学会 (五十音順)